

# サンゴ・レクイエム・HOPE SPOT に寄せる想い～

## 第3回島しづ子作品展

2023年 1/31(火)～2/10(金) 9時～17時

(休館日 土曜・日曜・月曜)



### 辺野古新基地建設の現場からの報告

#### 島しづ子と語る会

2月7日(火)、8日(水)、9日(木)

15時30分～17時 《要お申込み》

朝、辺野古漁港から大浦湾に向かうと、

右手前方の海は、雲間からの朝陽によって銀色に輝きます。左側は悲しい景色が続きます。辺野古新基地建設現場です。消波ブロックに囲まれた護岸が1キロも続き、高さは数メートルを越しました。そこに、今も土砂が投入され続けています。

護岸近くをウミガメが泳いでいます。晴れた日は船の上からもサンゴがゆらゆらと揺れながら、豊かないのちを誇っているのが見えます。ジュゴンはどこに行ったのでしょうか？

2021年7月末から大浦湾側での工事のために、サンゴの移植作業が始まりました。

海上行動チーム・辺野古ぶるーは、船とカヌーでサンゴを殺さないよう訴え、作業を監視し続けました。サンゴの移植現場の動画や写真も撮りました。

大浦湾も辺野古も土砂を積みだしている塩川、安和もサンゴが豊かに生きています。美しいサンゴの様子もご覧いただきたいです。

今回の作品展はサンゴのいのちへの感動と、サンゴが殺されていく現場を見たことから「サンゴ・レクイエム」としました。

ぜひ会場にいらして、サンゴたちに出会ってください。

うふざと教会牧師・抗議船船長見習い 島しづ子 (Sea ちゃん)

会場 農村伝道神学校本館(ストーン館)ロビー 東京都 町田市 野津田町 2024 地図・裏面  
入場無料 絵葉書や原画の販売あり。(農村伝道神学校献金と辺野古新基地建設反対海上行動支援金になります)

主催・お問い合わせ 農村伝道神学校後援会 Eメール kouenkai@noden.ac.jp

\*「島しづ子と語る会」お申込みください。 TEL 042-735-5775 090-2215-8540(後援会)

物々しい基地建設の現場も、写真に撮ると小さく感じられて、絵の方が見たままを伝えやすいという。1年描きためた水彩画で展示会をする  
と聞き、いくつか作品を見せたい  
巨大な運搬船にも太陽が燦々と、埋め立て域の空には夏の雲が輝く。工事が進む現実には夏になっても、周囲の自然の美しさに救われる。船からしか見られない「思いの風景」を描いてきた▼作者は南城市の島しづ子さん(73)。講演に呼ばれたり、戦跡を訪ねたり、20年ほど前から沖縄を度々訪れていた。昨年4月に名古屋から移り住み、週2回は辺野古や大浦の海で抗議船に乗る▼マイクを握れば、勇ましさとは違う芯のある言葉で基地の不条理を語る。早世した夫の遺志を継いで牧師になったが、振り返れば天職だった。重い障がいがあった娘をみとつた後も、誰もが等しく生きられる社会を目指して支援に取り組んできた▼ある日の礼拝では警句「メメント・モリ」(いつか必ず死ぬことを忘れるな)を引いて、為政者たちは人類のために何をすべきかを考え、今を全うしてほしいと話した▼日米が「辺野古推進」を再確認した共同声明からきょうで8年。間もなくこの国の新しいリーダーが決まる。太陽も雲も輝く宝の海に来て、未来に耐えられる決断をしてほしい。(粟国雄一郎)

大弦小弦

<2021・10・3>